

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
スポーツコミュニケーション		選択	2	2	後期	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー			
升 佑二郎	B313	y-masu	水曜日 12:10~13:00			
授業の目的・概要	<p>スポーツの実践を通じて、他者と良好な関係を構築し、共通の目標を達成するための「対人コミュニケーション能力」を養う。心理学や組織論に基づく「理論 (講義)」と、実際のスポーツ活動を通じた「実践 (演習)」を融合させて展開していく。チームビルディング、リーダーシップ、非言語コミュニケーションといった概念を講義で理解した直後、各種スポーツの中でそれらを即座にアウトプットし、その有効性を身体で確かめる。単なる技術向上を目指すのではなく、意図的な制約 (声出しの制限や特定の役割付与など) を設けた演習を行うことで、「どう伝えればチームが動くか」「どう聴けば信頼が生まれるか」という課題解決のプロセスをリアルに体感する。最終的には、スポーツの場に限らず、社会のあらゆる集団において、自ら主体的に働きかけ、周囲と協調しながら成果を出せる汎用的なコミュニケーション・リテラシーの獲得を目指す。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	日頃から適度な運動をするように心がけ、心身の健康を獲得し、積極的にスポーツ活動に参加できるように準備する。					
教科書	特に指定なし					
参考書	必要に応じて指定する。					
外部教材	必要に応じて指定する。					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針			
①	チームの状況を的確に把握し、目的達成のために必要な声掛けや非言語的サインを自ら発信できる。		HC(1)、(2)、(3)、(4)、(6)			
②	他者の意見を尊重して耳を傾け、対立が起きた際も建設的な対話を通じて合意を形成できる。		HC(1)、(2)、(3)、(4)、(6)			
③	リーダーやフォロワーといった自身の役割を理解し、周囲と協力して組織のパフォーマンスを最大化できる。		HC(1)、(2)、(3)、(4)、(6)			
④						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション	講義	スポーツの価値について調べる	4		
2	チームビルディングの基礎について学ぶ。	講義、演習	課題 1 を行う	4		
3	言語コミュニケーションと言語技術について学ぶ。	講義、演習	課題 2 を行う	4		
4	非言語コミュニケーションについて学ぶ。	講義、演習	課題 3 を行う	4		
5	アクティブ・リスニング (傾聴) について学ぶ。	講義、演習	課題 4 を行う	4		
6	リーダーシップとフォロワーシップについて学ぶ。	講義、演習	課題 5 を行う	4		
7	フィードバックの技法について学ぶ。	講義、演習	課題 6 を行う	4		
8	コンフリクト・マネジメントについて学ぶ。	講義、演習	課題 7 を行う	4		
9	ダイバーシティとインクルージョンについて学ぶ。	講義、演習	課題 8 を行う	4		
10	目標設定とモチベーションについて学ぶ。	講義、演習	課題 9 を行う	4		
11	プレッシャー下でのコミュニケーションについて学ぶ。	講義、演習	課題 10 を行う	4		
12	戦略立案と意思決定について学ぶ	講義、演習	課題 11 を行う	4		
13	スポーツを通じた地域・社会貢献について学ぶ。	講義、演習	課題 12 を行う	4		

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群】

14	実践を通じた統合的なコミュニケーションについて学ぶ。	講義、演習	課題 13 を行う	4
15	スポーツコミュニケーションの総括を講義する。	講義	課題 14 を行う	4
試	達成度評価・評価のポイント参照			

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	10	10
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	20	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	20	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	各回で出題する学習課題、取り組み姿勢や内容(100%)により評価する。	授業時に解説する。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	10年以上の大学スポーツ授業担当歴があり、中学校、高等学校教諭専修免許（保健体育）を有する教員が授業を行う。
実践的授業の内容	専門的な理論を紹介しながら実技指導および講義を行う。
そ の 他	